

理事会報告

令和7年度 第2回理事会
令和7年7月12日(土)

- (1) 協議事項
定款および諸規則の変更について
外部監事・外部理事について
令和8年度要望書について
会旗の作成について
新入会員の承認について
その他

- (2) 報告事項
会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
歯科衛生士センター事業について
災害連絡網について
その他

- (3) その他
役割分担、会員発送、その他



令和7年度 第3回理事会
令和7年9月13日(土)

- (1) 協議事項
定款および諸規則の変更について
終身会員について
新入会員の承認について
賛助会員の内規について
会旗の作成について
その他

- (2) 報告事項
会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
歯科衛生士センター事業について
創立60周年記念事業について
その他

- (3) その他
役割分担、会員発送、その他

M5編集後記

イベントの多い季節ですね。皆さま
どうぞ体調に気をつけて充実した
日々をお過ごしください。(YM)

△猛暑に負けず夏を乗り切りました。やっと涼しくなりホットヒ
と息づいています。紅葉が待ち遠しい昨今です。(MK)
△60周年おめでとうございます!新メンバーでの広報委員会も
楽しく盛り上がりを見せています。(MN)

△感謝戴徳(かんおんたいとく)多くの方に支えられ、無事に発
行できました。心より感謝申し上げます。(UM)

公益社団法人
兵庫県歯科衛生士会

〒650-0004 神戸市中央区中山手通5丁目2番13号 四宮神社会館2F
TEL 078-341-6471 FAX 078-945-7871
E-mail: hdha@silver.ocn.ne.jp <https://hyogo-dh.or.jp>



兵庫県歯科衛生士センター (兵庫県歯科衛生士会事務所内)

<https://hyogo-dh.or.jp/dhc>

歯科衛生士会センターへの登録:会員の皆さまの中には、まだ未登録の方がおられます。当会員は自動的にセンターへ登録されませんので、ご注意ください。登録いただくと、メールマガジンなどで最新情報をお届けします。(登録無料) お知り合いの歯科衛生士にもお声掛けをお願いします。

詳細・登録方法は歯科衛生士センターのウェブサイトをご覧ください。
Instagramでは、県内の地域活動やセンターの取り組みを発信しています。

会務報告

- 5月 11日(日) ● 兵庫県放射線技師会 清水操氏瑞宝单光章記念祝賀会
19日(月) ● 外部監事推薦依頼
30日(金) ● 兵庫県功労者表彰式
31日(土) ● 6月三役会
6月 4日(水) ● 当会主催 歯と口の衛生週間イベント
● 災害時協定書締結式
● 兵庫県プライマリ・ケア協議会幹事会
● 神戸市訪問口腔ケア推進事業*
15日(日) ● 令和7年度日本歯科衛生士会定時議員会
20日(金) ● 兵庫県健康財団会長表彰式
22日(日) ● 第14回定期総会
28日(土) ● WEII→噛む(ウェルカム)EXPO'25
7月 4日(金) ● 第1回兵庫県医療職団体協議会
5日(土) ● 7月三役会
10日(木) ● 令和7年度第1回神戸市歯科口腔保健推進検討会
22日(火) ● 第1回神戸市歯科口腔保健推進懇話会
24日(木) ● 第1回障害者支援施設などにおける歯科口腔保健体制整備検討会*
25日(金) ● 近畿北陸地区歯科衛生士教育協議会懇親会
27日(日) ● 第1回支部長会
31日(木) ● 多職種連携によるオーラルフレイル予防対策の推進事業
市町連絡会
● 第1回オーラルフレイル事業検討会議
8月 2日(土) ● 8月三役会*
3日(日) ● 兵庫県病院歯科医会阪神・淡路大震災30年集会
18日(月) ● 兵庫県保健医療部医務課企画調整班へ要望書の提出
20日(水) ● 令和7年度第2回兵庫県プライマリ・ケア幹事会
9月 4日(木) ● 第1回復職支援検討会議
● 第2回医療職団体協議会*
6日(土) ● 9月三役会

*(Web会議)

【歯科衛生士養成機関との連携】

- ・学生会員入会説明会
- 6月 17日(火) 神戸常盤大学
7月 17日(木) 神戸リハビリテーション衛生専門学校
24日(木) 姫路歯科衛生専門学校
29日(火) 神戸総合医療専門学校



発行 令和7年11月1日 公益社団法人兵庫県歯科衛生士会



兵衛だより

HYOGO DENTAL HYGIENISTS' ASSOCIATION

創立60周年 次世代につなぐ新たなる出発へ

公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
15代会長 岩崎 小百合



職としての責務を真摯に果された証であり、心より敬意を表します。当会10支部は、こうした高い期待に応えるべく、郡市区歯科医師会と密に連携し、多様な地域課題に精力的に取り組み、県民の健康寿命の延伸に大きく寄与しています。また、当会は復職支援、離職防止、人材育成、そして歯科衛生士養成機関との連携による学生支援にも注力しております。令和2年度に創設した兵庫県歯科衛生士センターでは、歯科衛生士が安心して活躍できる環境整備にも努めており、その力が地域に還元され始めています。

兵庫県歯科衛生士会は、この60周年を新たな出発点とし、県民の健康を口から支える専門職としての決意を新たにしてまいります。会員の皆様とともに、輝かしい次の時代を築き、この歩みを確かなものとするため、今後とも変わらぬご協力とご支援を賜りますよう、重ねて心よりお願い申し上げます。

皆さま受賞おめでとうございます

兵庫県知事表彰および感謝状贈呈

○知事表彰

・団体 兵庫県歯科衛生士会神戸支部
支部長 菅原 紗代子 (写真前列左)

・個人 野末 優子 (写真前列左より2番目)
石井 美和 (写真前列右より2番目)
澤田 真由美 (写真前列右)

○感謝状 恵比須 美知代 (写真後列左)
朝田 美鈴 (写真後列左から2番目)
都倉 美佐代 (写真後列中央)
二神 真由美 (写真後列右から2番目)
小松 陽子 (写真後列右)

(敬称略)

兵庫県の健康福祉行政の推進に関連のある団体の創立記念にあたり、県民の保健衛生と福祉の向上に寄与した団体・個人に表彰が行われました。



2025

No. 93
NOVEMBER

創立60周年記念式典

日時 令和7年10月26日(日) 開催場所 神戸ポートピアホテル 大輪田

令和7年10月26日、兵庫県歯科衛生士会の創立60周年記念式典・祝賀会が開催されました。会場の受付には、お祝いのお花や祝電が多数届けられ、華やかな雰囲気でご来賓の皆様をお迎えすることができました。

式典では、兵庫県斎藤知事、神戸市今西副市長、日本歯科衛生士会武藤会長、兵庫県歯科医師会橋本会長から祝辞を賜りました。引き続き行われた祝賀会では兵庫県歯科技工士会山口会長の乾杯のご発声で祝宴が始まり兵庫県医療保健部山下部長、兵庫県医療職団体協議会三井代表、神戸常盤大学中村理事長からも温かいお祝いの言葉をいただきました。



斎藤県知事



日本歯科衛生士会
武藤 智美 会長



石川 裕子 第6代会長

続いて「60周年の活動紹介」の映像が上映され、歴代会長の紹介やこれまでの活動内容、10支部の取り組みなどがまとめられていました。その後石川氏からは、発足当時の会合の様子や、歯科医師会のご厚意で事務所をお借りしていた頃のことなど、当時の貴重なお話を伺うことができ、諸先輩方の熱い思いを感じ取ることができました。

今回の式典を通して、兵庫県歯科衛生士会の歩みと、支えてこられた多くの方々の思いを改めて感じることができました。



公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会の沿革

1948年(昭和23年)歯科衛生士法制定・公布
1951年(昭和26年)日本歯科衛生士会設立
1965年(昭和40年)兵庫県歯科衛生士会設立
1999年(平成11年)社団法人兵庫県歯科衛生士会設立
2012年(平成24年)公益社団法人兵庫県歯科衛生士会設立



創立60周年記念式典スタッフ

委員会活動紹介

普及啓発委員会

歯っぴいスマイルフェスティバルや健康公開講座を、支部や関係機関と連携して実施し、県民の健口づくりを普及・啓発しています。



(顔写真上) 安部 有梨委員／(顔写真下) 野村 純子委員
藤村 ひかる委員／原田 さとみ理事／戸田 紗里奈委員長

地域保健企画委員会

災害支援歯科衛生士育成研修会や災害支援体制整備訓練を担当し、多様な経験を持つメンバーが集い、和気あいあいと活動しています。



(顔写真) 大川 直美委員長／田原 真貴委員
山内 千代理事／笠井 昌樹子委員
伊藤 美咲委員
西谷 真悠子委員

生涯歯科保健委員会

兵庫県と連携し、地域で活躍する「口腔健康管理支援リーダー」の育成や連絡会を開催しています。生涯歯科保健に関する研修も行っています。



宮垣 真理子委員／三浦 慈子委員
金谷 雪詩委員長／井之上 みどり理事／登利 早苗委員

基礎研修委員会

卒後研修必修プログラム(ベーシック・アドバンス・スペシャリスト)を通じて、キャリアアップや復職支援に向けた研修会の企画・実施を行っています。



久保 純美子委員／四方 雅子理事／
畔柳 知恵子委員長／明石 知子委員

専門研修委員会

歯科衛生士スキルアップセミナーなど、専門性を高め歯科衛生実践能力の向上を目指す研修の企画と実施を行っています。



(顔写真上) 黒川 久美子委員／(顔写真下) 谷脇 菊栄委員長
安達 圭子委員／小澤 純子理事／長瀬 美香委員

特定研修委員会

医科歯科連携を強化し、有病者の口腔衛生管理の向上を目指す研修を企画・運営しています。



森 菜摘委員／生田 芙美委員／堀江 志保委員
西井 美佳理事／吉良 そのみ委員長

広報・情報管理委員会

チームワークで、広報誌「兵衛だより」・兵庫県歯科衛生士会学術誌の作成や、ウェブサイトの情報管理を行っています。



村留 和子委員／山本 三千子委員長／
占部 美由理事／丸山 直子委員

会員拡大委員会

兵庫県下の歯科衛生士および養成機関の学生の会員拡充を図るため、協議を重ね、アンケートの実施や「学生だより」の発行を進めています。



肥塚 美奈子理事／鈴木 亜弓委員長
山口 玲子委員／仁木 かおり委員

受託事業調整委員会

歯科衛生士の復職支援を目的とした講習会の企画と実施を、年2回開催しています。受託事業の情報を会員の皆さまへお届けしています。



大瀬 真理子委員／米谷 エリカ委員／大島 百合香委員
池崎 雅代理事／竹野々 晴子委員長

令和8年度予算などに関する要望書

要望事項

- ① 生涯を通じた「口腔健康管理」の推進
- ② 病院(急性期・回復期・精神等)における口腔健康管理体制の整備
- ③ 兵庫県歯科衛生士センター運営と事業の拡充
- ④ 歯科衛生士養成課程の充実
- ⑤ 災害支援の歯科保健医療の提供体制の確保

卒後研修必修プログラム (基礎研修委員会)

アドバンスコース

日 時 令和7年7月6日(日)・13日(日)12:50~16:20
開催場所 本会議室 四宮神社会館会議室 参加人数 12名

「卒後研修アドバンスコースでさらなる成長を」

卒後研修必修プログラム・アドバンスコースは、歯科衛生士の専門性を深め、キャリアアップにつなげていただくための研修会です。

今回は就業4年から6年の12名が参加し、2日間にわたり6つの講義を受講しました。

内容は小児歯科、障がい者歯科、災害支援歯科、兵庫県の歯科保健の現状、さらに周術期や要介護高齢者の口腔機能管理など、日々の臨床に直結するものばかりでした。受講された皆さんの表情からも、学びへの意欲が伝わってきました。11名が修了され修了証が発行されました。

これからも、兵庫県で働く歯科衛生士の皆さんにキャリアアップできる場として、また復職を目指す方が最新の情報を得て知識を積み重ねられる場として、この研修会を続けていきたいと思います。



アドバンスコース修了者

ベーシックコース

日 時 令和7年10月5日(日)・19日(日)12:50~16:20
開催方法 リモート形式
参加人数 1回目28名、2回目26名



ベーシックコース

第1回支部長会・リーダー研修会

日 時 令和7年7月27日(日)10:30~15:30
開催場所 本会議室 四宮神社会館会議室 参加人数 34名

新執行役員体制のもと、令和7年度第1回の支部長会およびリーダー研修会が開催されました。今回は、事務所移転後初めての開催となりました。県下10支部より支部長を含む34名が出席し、活発な意見交換と情報共有が行われました。

午前中に開催した支部長会では、令和6年度の妊産婦・子ども・ティーンズを対象とした歯科保健指導事業について再確認を行い、今後多くの地域での事業展開をお願いしました。続いて、創立60周年記念事業の記念式典・祝賀会への参加を呼びかけました。また、本会作成リーフレット等についての積極的な活用依頼と各委員会からの事業の報告や周知案内を行いました。

午後からのリーダー研修では、各支部の事業報告の後、それぞれの支部活動について共有するために、「支部の活性化に向けて今できること」をテーマに、以下の3つについてグループワークを行いました。

- ①支部活動の工夫と課題
- ②会員の繋がりを深める取組み
- ③多職種連携の方法

各グループより、具体的かつ実践的な意見が多数出され、今後の支部活動活性化のための貴重な気づきとなりました。



歯科衛生士のための認知症対応力向上研修会

兵庫県委託事業 (特定研修委員会)

日 時 令和7年8月31日(日)13:00~16:00
開催方法 リモート形式
参加人数 会員57名 会員外3名



講師
枝広 あや子 氏

歯科衛生士のための認知症対応力向上研修会が、リモート形式で開催されました。

今回は東京都健康長寿医療センター研究所の枝広あや子氏を講師にお迎えし、「歯科衛生士が知っていると役に立つ認知症の基礎知識」について学びました。

研修会では、認知症疾患の病態や治療、行動心理症状、生活障害について詳しい解説があり、認知症患者に対するケア方法や歯科診療の留意点が共有されました。

さらに、認知症患者特有の問題行動や心理的変化にどのように対応すべきか、歯科衛生士としての役割や接し方についても取り上げられました。

また、他職種との連携の重要性についても触れられ、包括的な支援を行うための体制づくりが強調されました。

今回の研修では、臨床現場で役立つ、多くの知識と具体的なアプローチの方法を学び、大変有意義な研修の場となりました。

講義後には、本会が作成したMCIパンフレットを題材にグループワークを行い、各職域でどのように活用していくのか積極的に意見交換が行われました。



災害支援歯科衛生士育成研修会

(地域歯科保健企画委員会)

日 時 令和7年9月7日(日)13:30~15:30
開催方法 リモート形式 参加人数 40名(会員38名・会員外2名)



講師
松下 清美 氏



「兵庫県看護協会 災害支援ナースの活動について」

災害時における他職種の取り組みを知る機会として、公益社団法人兵庫県看護協会専務理事 松下清美氏を講師にお迎えし、災害支援ナースの活動について拝聴しました。

災害支援ナースは令和6年4月から、DMAT(災害派遣医療チーム)・DPAT(災害派遣精神医療チーム)と同様に国が要請・登録する「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられ、今後は新興感染症や災害発生時に、都道府県や医療機関との協定に基づいて応援派遣されることになりました。

また、阪神・淡路大震災から始まった様々な災害活動についてもご説明いただき、兵庫県看護協会の先駆的な取組が国の災害支援ナースの活動へつながっていることや、兵庫県発

祥の「まちの保健室」が災害を通じて被災地に根付いたことを知ることができました。

「災害という非日常の事態では、平時以上のこととはできない」との言葉が印象に残り、日ごろからの訓練や、医療職団体として災害にどう対応していくかを考えておく必要があると感じました。

さらに当委員会からは、本会で実施している災害支援体制整備訓練の回答状況について報告を行いました。回答率は全会員の17.3%でした。今後も日本歯科衛生士会と同様に、本会においても災害支援訓練を継続してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

会から派遣要請を受け、本会に協力依頼があった場合、最大限の協力をを行う安定した連携体制が整いました。

兵庫県では、大規模災害を想定した合同防災訓練を毎年実施しており、本会も歯科医師会とともに参加しています。今年度は11月に播磨地域(中播磨・西播磨管内5市6町)で実施される予定です。

また本会は、災害時に迅速かつ円滑に活動できる組織づくりと会員の防災意識向上を目的に、毎年「災害支援歯科衛生士育成研修会」と伝達訓練を実施しています。

私たちは、災害時の歯科保健医療に対応できる力を高めるとともに、平時からの防災・減災に職能団体として取り組んでまいります。

災害協定締結

兵庫県歯科医師会・兵庫県歯科技工士会と「災害時における歯科保健医療活動に関する協定書」を締結しました。

兵庫県は令和7年3月31日に「災害時の歯科保健医療活動指針」を改定し、これに伴い、兵庫県歯科医師会、兵庫県歯科技工士会、本会の三団体は、令和7年6月4日に「災害時における歯科保健医療に関する協定書」を締結しました。

本協定により、兵庫県歯科医師会が県および日本歯科医師



講師
野原 幹司 氏



専門研修 生涯歯科専門研修会

(生涯歯科保健委員会／専門研修委員会)

日 時 令和7年9月21日(日)13:30~15:30
開催場所 メイン会場(本会議室・四宮神社会館会議室)
サテライト会場(兵庫県立但馬長寿の郷)
参加人数 メイン会場65名、サテライト会場20名

「歯科が行う認知症高齢者の食支援」をテーマに、専門研修委員会と生涯歯科保健委員会が合同で専門研修 生涯歯科専門研修会を開催しました。

講師には、大阪大学大学院歯学研究科准教授 野原幹司氏をお迎えしました。

本研修会は大変好評で、申し込み募集期間を待たずして定員に達し、ご期待に沿えなかった会員の方々には大変申し訳なく思っています。

ご講演では、認知症の種類によって対応が異なることや、



メイン会場(本会議室・四宮神社会館会議室)



サテライト会場(兵庫県立但馬長寿の郷)

進行性の病気であるため、食支援においては「キュアからケアへ、訓練から支援へ」という視点が重要であることを学びました。特に、アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症の違いについて動画を交えてご説明いただき、「観察して気づく力」を身につけることの必要性を強く感じました。

今回の研修で得た知識を活かし、日々の臨床現場や在宅・施設での口腔健康管理、摂食嚥下支援において、多職種との連携を円滑に進められるよう、今後も専門性の向上に努めていきたいと思います。

第1回歯科衛生士復職支援講習会 (受託事業調整委員会)

日 時 令和7年7月20日(日)10:30~12:00
開催方法 リモート形式
参加人数 合計7名(会員3名・会員外4名)



このたび4年ぶりにリモート配信形式による復職支援講習会を開催しました。講習会では、兵庫県歯科衛生士会副会長・野末優子氏による「歯科衛生士に求められる職域」と題する講話をはじめ、一般歯科診療所および矯正歯科医院のようすを紹介する動画、さらに阪神南支部・角谷香奈子氏による復職体験談のビデオレターを上映しました。

近年は訪問歯科分野の需要が高まっていることから、復職を希望される方には口腔健康管理の基礎を知っていただけるよう、内容を一部リニューアルし、各種動画を視聴していただ

きました。また、ブランクを経て復職された方の体験談は、参加者にとって大きな励みとなり、歯科衛生士として多様な働き方を知る貴重な機会となりました。

終了後のアンケートでは、「復職に不安を抱えている感覚が少し楽になった」「実際に復職された方の体験談がとても参考になった」「多様な働き方があることを知り、次へ踏み出す大きな一歩となった」などの感想が寄せられました。

今回の講習会が、再び歯科衛生士として活躍するきっかけになれば幸いです。

第2回歯科衛生士復職支援講習会 (受託事業調整委員会)

【講義】「プローピングとポジショニングについて」
講師:兵庫県歯科衛生士学院 教務主任 肥塚 美奈子 氏
【実習】1 プローピングおよびマネキンを使ったポジショニングの実習
2 マナポットを使った口腔衛生管理の基礎実習
講師:兵庫県歯科衛生士会 栗原 知子 氏 原田 さとみ 氏
【求職相談会】希望者を対象に個別の求職相談の実施

今回の講習会は、幅広い年代で予想を超える多くの申し込みをいただきました。全員が実習できるよう時間を延長して行いました。会場は、学びたい気持ちでいっぱいの受講者と、その思いに応える講師陣の熱意で、とても活気にあふれています。

講義や実習を通して、基本を改めて確認するとともに、臨床で役立つ知識や技術を学ぶことができ、参加者にとって有意義な時間となりました。

講習会終了後には、希望者向けに求職相談会も行われました。これからも、復職を目指す方への学びや、具体的な支援を行う活動を続けてまいります。

日 時 令和7年9月28日(日)10:30~12:30
開催場所 本会議室 四宮神社会議室
参加人数 合計18名(会員3名・会員外15名)



兵庫県歯科衛生士センターだより

○令和7年度第1回運営協議会の開催

令和7年9月25日(木) 13:00~14:45

兵庫県、兵庫県歯科医師会、エリア担当者代表と本会役員が集まり、今年度の事業や次年度の事業案について協議を行いました。

今年度は新しいリーフレットとオリジナルクリアファイルを作成し、歯科衛生士養成機関や行政機関、各歯科医師会へ配布して周知をお願いしました。

○令和7年度第1回エリア担当者連絡会の開催

令和7年9月25日(木) 10:30~11:45(リモート開催)

東部、西部、南部、北部4つのエリアに4名の担当者を配置し、連絡会を行いました。各地域での周知活動について、意見や情報交換を行いました。



運営協議会

エリア担当者連絡会

第2回兵庫県歯科衛生士センター研修会のご案内

令和8年2月8日(日)集合型研修会に決まりました。

「予防歯科から学ぶ歯周病と全身疾患」をテーマに、歯科保健指導に役立つ情報が学べます。講師はwell→噛むEXPO'25で講師を務められた、大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学講座 講師 坂中哲人氏です。

詳細はWebサイト、メールマガジン、Instagramでお知らせいたします。

歯っぴいスマイルフェスティバル (普及啓発委員会)

日 時 令和7年10月12日(日)10:00~14:00
開催場所 洲本市やまと会館 参加人数 延べ人数265名

笑顔いっぱい! 洲本市で「歯っぴいスマイルフェスティバル」開催

今年度は、淡路支部協力のもと、「ふれ愛まつり2025~洲本市健康福祉まつり&社協のつどい~」に出展しました。開会式には、洲本市のマスクキャラクターのなのはちゃん、洲本市社会福祉協議会のみくっマン、兵庫県歯科医師会のん太くんも勢ぞろいし、にぎやかなスタートとなりました。

歯科衛生士会のブースはスペースが限られていたが、その分来場者との距離が近く、笑顔と会話があふれていました。デコレーション歯ブラシ作りは、大人にも子どもにも大人気で、97人が思い思いのデザインに仕上げ、世界に一つだけの歯ブラシを完成させました。噛む力測定には83人が参加し、ご自



キャラクター



デコレーション歯ブラシ作り



むし歯リスクチェック



スタッフ



みんなで WAI WAI コーナー

兵庫の味探訪

歯科衛生士会に入って良かったと思うことの一つに、素敵なお会いがあります。支部活動や研修会で顔見知りの方に出会うと、なんだかほっとして「もう少し頑張ろう」と元気をもらいます。

あるとき、支部活動で食育のイベントに参加し丹波篠山市いすみ会の方から「とふ飯」という郷土料理のレシピをいただき、実際に作ってみました。豆腐のやさしい味とサバのうま味が合わせた素朴でどこか懐かしい味の混ぜご飯ができました。

とふめし

材 料 4人分

米	2カップ
木綿豆腐(硬め)	200g
ごぼう	80g
人参	30g
油揚げ	20g
鰯水煮 缶	80g
サラダ油	小さじ1
濃口しょうゆ	大さじ2
酒	小さじ1



①米は普通の水加減でごはんを炊く。

②木綿豆腐はよくゆでて(約40分)ザルにあげ、水切りをしておく。

③人参は3センチのせん切り。ごぼうは皮をこそげて、ささがきにし、水に浸してアクをぬき、水気をきる。油あげは長さ3センチのせん切りにする。

④鍋にサラダ油を入れて熱し、ごぼう、人参、油あげの順に入れて炒める。

⑤野菜が軟らかくなったら②の豆腐とさば缶(汁ごと)を加え、豆腐を大きくつぶしながら炒める。

しょうゆと酒で味付けし、煮汁がなくなるまで炒り煮する。

⑥米が炊けた頃をみて、⑤の具をご飯の上にのせる。15~20分おいて蒸らしてから、混ぜ合わせる。

とふめしのいわれ

豆腐を具に入れたとふめしは、丹波篠山の中でも大山地区の町ノ田、長安寺を中心に、集落内の冠婚葬祭の時に作られてきた混ぜご飯で、朴素な味ですが一度食べると忘れられない味です。最近では、郷土食の一つとして広く作られるようになりました。



子どもたちへ伝えたい ささやまの郷土料理 レシピ集より抜粋